

埼玉医科大学(前期) 英語

2025年 2月 4日実施

1

- 問 1. ④ 問 2. ③ 問 3. ② 問 4. ④ 問 5. ①
問 6. ④ 問 7. ② 問 8. ① 問 9. ④ 問 10. ②

[解説]

問 1. 「6人の客がいて、1人はアメリカ人、2人は中国人…」とあるので、残りは3人だと分かる。「(分母が定数である場合の) その他全員」は定冠詞付きの **the others** で表す。

問 2. **careless** は人の性質や評価を表す形容詞であることから、意味上主語には **for** ではなく **of** を用いる。

問 3. **make oneself heard** 「自分(の話・考え)を聞いてもらう」という定型表現。

問 4. 「雨が激しく降っていた」という事実に対し、「そうでなかったならば」という仮定法過去完了の表現を選ぶ。②は仮定法過去なので不可。**If it hadn't been raining** であれば正解だが、選択肢にないのでその代替表現となる **Otherwise** を選ぶ。

問 5. **so** は副詞なので、**so a fine day** と並べることができない (**so fine a day** ならば可)。あるいは、形容詞 **such** を用い **such a fine day** とする。

問 6. **by air** で「空路で」の意。**by plane** と同じく、**the** は不要。

問 7. **refuse** は目的語に **to** 不定詞をとる。**refuse toV** と **hesitate toV** は頻出なので必ず押さえておくこと。

問 8. 「17歳の」と1語の形容詞で表現する場合は **17-year-old** となり、**year** は複数形にならない。類例として、**a six-foot-tall boy** 「身長6フィートの少年」なども同様。

問 9. 「彼らは～に適應してきた」。**where they live** で「彼らは住んでいる場所」という名詞節を作る。

問 10. 「環境により適應した動物は、生き残って子をもうける []」。文意に適するのは **be likely toV** 「～する可能性が高い」である。

2

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ④ 問 4. ③ 問 5. ②
問 6. ④ 問 7. ② 問 8. ② 問 9. ③ 問 10. ②

[解説]

問 1. 第1段落第2文に、**COVID-19** パンデミックの以前ですら、米国の成人の約半数がかなりの孤独感を経験していたと述べられていることから、それを言い換えた③が正しい。

問 2. **put a price tag on ~** とは、字義通りに言えば「～値を付ける、～の額を見積もる」の意だが、もちろんこの文脈では何かに本当に値札を付けているわけではない。目的語が **the amount of human suffering that people are experiencing right now** であることから、人間の苦痛の度合いを「見積もる」という意味合いであると推測し、①と判断する。

問 3. 空所直後に「これはしばしば質の低いつながりを意味した」とあること、また同じ段落の最終文に「対面での交流を犠牲にしてオンラインで時間を過ごしている」という旨の記

述があることから、④が正しい。

問 4. 問 3 の解説とも関連するが、ここで与えられた文も **spending less time with each other in person** という表現を含むことから、対面での交流時間が減っているという主題の Paragraph に置かれるのは明白で、③と判断できる。

問 5. 下線部直後に挙げられた 6 つの柱の内容と照らし合わせればよい。①は 1. や 2. を参照したものと思われるが、**research infrastructure** 「研究基盤」を醸成する、とする記述はないため不適。②は 5. の言い換えになっている。③のような記述はいずれにも存在しない。④は 3. に関連する内容だが、**seven days a week** 「1 週間に 7 日＝毎日」とする記述は存在しない。

問 6. **John** の 2 回目の発言より、**loneliness epidemic** に関する記事を徹夜で読み漁ってしまったとあるので、④が正しい。

問 7. **John** の 4 回目の発言に、「彼らの問題は単なるスマホの使い過ぎ以上のものである」とあることから、②が正しい。

問 8. 空所直後には、「配偶者との死別」「高齢による機動性の低下」など、高齢者が抱える問題が挙げられているため、②が正しい。

問 9. **pique** とは「〈好奇心・興味など〉をそそる」という意味で用いられた語であるが、仮にそれを知らなくとも、「私の好奇心を [] してくれてありがとう」と感謝を述べていることから③と推測できる。

問 10. ①は **John** の 3 回目の発言、③は **John** の 8 回目の発言、④は **John** の 9 回目の発言に言及がある。

3

問 1. ④ 問 2. ② 問 3. ③ 問 4. ② 問 5. ③
 問 6. ③ 問 7. ③ 問 8. ① 問 9. ③ 問 10. ②

[解説]

問 1. 下線部以降の関係詞節内と合致。

問 2. 第 2 段落 2 行目～3 行目と合致。

問 3. 第 3 段落 2 行目～4 行目から、「原因が分かっていない」と判断可能。

問 4. 第 3 段落 2 行目 **while** 節内と合致。

問 5. 第 4 段落 3 行目～4 行目と合致。

問 6. 第 5 段落 6 行目～8 行目に着目。**But** の逆接関係をとらえる。前半が、**had increased** であるため、後半は **had shrunk** となる。また、第 6 段落冒頭の **a decrease in cortical thickness** もヒントになる。

問 7. 第 6 段落 5 行目～6 行目に着目。**speculates** とあるため、ここが **hypothesis** の内容と判断できる。

問 8. 第 7 段落 1 行目～3 行目と合致。

問 9. 第 9 段落冒頭に ... **needs more validation** とあることから、「妥当である / 説得力のある」という内容がふさわしいと判断可能。

問 10. 第 5 段落 5 行目～6 行目と合致。

4

問 1. ③ 問 2. ④ 問 3. ② 問 4. ④ 問 5. ②

問 6. ② 問 7. ① 問 8. ① 問 9. ③ 問 10. ②

[解説]

問 1. 第 1 段落第 4 文「人口の約 2 割が医療費の 8 割を占めている」に合致するのは、③「アメリカでは、8 割の医療費が人口の 2 割に割り当てられる」である。

問 2. 「自腹でそのような大金を払えるアメリカ人は [] である」という文であり、④「きわめて少数」が適する。そうであるからこそ、公的なものであれ民間によるものであれ、保険によって賄われるのである。

問 3. ヨーロッパ諸国は、政府（究極的には納税者）による保険制度であるのに対して、アメリカは特異な制度であると述べられているから、②「民間の保険会社」が適する。第 5 段落の **unique reliance on private insurance** にも注目する。

問 4. 第 4 段落最終文で、**socialized medicine** の定義が述べられており、要は「公営の病院」でスタッフは「公務員」ということである。言い換えると、④「公営医療制度においては、医師は主に民間の病院やクリニックで働くわけでない」となる。

問 5. 正しい語順は、**twice as much on health care per person as** であり、4 番目の単語は、②**on** である。倍数表現 **twice, per** 「一人あたり」に注意。

問 6. アメリカでは、私的な保険制度に依存し、多額の医療費を支出しているにもかかわらず、各種医療水準の指標が芳しくないと述べられている。したがって、それは②「民間部門の方が公的部門よりも効率的である」というありがちな考えへの **refutation**「反論」となる。

問 7. 人工股関節置換術について、カナダの方が待機時間が長いのは事実だが、それは、アメリカでは、メディケアによって賄われる例外的なものであるから、この事実を引き合いに出して、アメリカの制度が優れていると主張するのは①**misleading**「誤解を招く」ということ。

問 8. 人工股関節置換術については、アメリカが公的保険によって「十分に」賄われるという文脈であるから、**lavishly** = ①**richly**「潤沢に」である。

問 9. 「チーズバーガー理論」とは、アメリカ人はチーズバーガーを食べるので肥満の人が多く、成人病になりがちであるから医療費が多いという理屈であるが、生活習慣の問題は有意な違いをもたらしておらず説明になっていないということが、この段落の主眼である。とすると、③「この理論は、アメリカの医療費が他の国よりもはるかに多い理由を十分に説明するものである」が誤りとなる。

問 10. 本文全体を通じて、筆者は、民間保険依存のアメリカの制度が実は、喧伝されてい

るほど優れているわけではないことを主張している。本文最後から2番目の文で, American health care does not stand out from health care in other rich countries とまとめられている。したがって、正解は②「筆者によると、アメリカの健康制度が世界一だという見解には疑念がある」。

【総評】

かつてより長文が1本減って文法1題+長文3題となった昨年度の問題構成を踏襲。大問1は昨年度までは4択適語補充(+年度によっては語句整序)のみであったが、本年度は適語補充4問に加え誤謬訂正4問、短いパッセージ中の空所補充が2問出題される新傾向であった。しかし難易度的にはいずれも平易であり、10問中8問以上の正解はマスト。一方、長文は昨年度に比べやや難化した。特に大問4は、医系長文ではありながらその内実は各国の健康保険などの社会制度の話であり、どちらかと言うと文系寄りとも言える抽象的トピックに苦しんだ受験生も多いであろう。ただし、埼玉の例年の傾向通り、該当箇所を探しその前後を局所的に読むだけで対応可能な問いが多いので、そういった問いをきっちり回収し、かつ標準的難易度な大問2・3で十分に得点を稼げたかどうか合否を分かつてであろう。一次通過には65%程度の得点が望まれる。

昭和大学医学部[Ⅱ期]模試2.20(木)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月17日(月) 20:00
会場 東京/大阪/福岡

聖マリアンナ医科大学[後期]模試2.23(日)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月20日(木) 20:00
会場 東京/大阪/福岡

対象 高3生・高卒生対象 料金 6,600円(税別)



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↗

医大別直前講習会 受付中

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↗

本解答速報の内容に関するお問合せは



03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

